



# 市議会だより

## 平成23年度 青森県市議会議員研修会



議員研修会の様子

### ■ 議員研修会及び研究フォーラム ■

平成23年10月4日、五所川原市において議員活動を行うための知識の習得を図ることを目的とした研修会が青森県市議会議長会の主催で行われ、23名の議員が参加しました。

講師にテレビ朝日コメンテーター、早稲田大学大学院講師の三反園訓氏を迎え「今、地方議員に求められること」と題し、歴代総理のエピソードや今後の政治動向も交えながら講演をいただきました。

また、平成23年10月12日に青森市で行われた全国市議会議長会研究フォーラムに10名の議員が参加しました。元総務大臣、元岩手県知事の増田寛也氏の基調講演「二元代表制と地方議会改革」に続き、「地方議会と直接民主主義について」というテーマでパネルディスカッションが行われました。

議員研修会及び研究フォーラムは今後の議員活動にとって大変有意義なものとなりました。

主な内容

議員研修会及び研究フォーラム…	1
臨時会・定例会の概要 ……	2
平成22年度決算の概要 ……	2
議決結果表……………	3

一般質問……………	4～6
予算決算特別委員会……	6～7
討 論……………	7
インターネット中継のお知らせ……	8

次回定例会の予定……………	8
行政視察来庁……………	8
編集後記……………	8

## 平成23年第4回臨時会の概要

8月23日に第4回臨時会が開催され、つがる西北五広域連合規約の変更について等、市長から提案された議案4件を原案どおり承認、可決しました。

主な議案の内容を掲載いたします。

### 専決処分承認を求めるとして

○平成23年度五所川原市一般会計補正予算(第2号)

#### ・消費、安全対策交付金事業

安全な農産物を供給するために、農産物の放射線量を測定するものです。

#### ・住宅リフォーム助成事業

平成23年第3回定例会で予算化された住宅リフォーム助成事業を増額するものです。

### その他

○つがる西北五広域連合規約の変更について

平成23年9月1日から、つがる西北五広域連合の病院事業に地方公営企業法を全部適用するための規約変更です。

## 平成23年第5回定例会の概要

9月1日から9月15日までの15日間の会期で開催されました。

今定例会では、平成22年度一般会計歳入歳出決算の認定について等、市長から

提出された議案35件を原案どおり認定、可決しました。

また、磯辺勇司、鳴海初男、山口孝夫、伊藤永慈、花田進、平山秀直、加藤磐、阿部春市、松野武司の9名の議員が登壇し、市政の課題等について一般質問をしました。(4〜6ページに掲載)

主な議案の内容を掲載いたします。

## 決算

平成22年度五所川原市一般会計、特別会計及び公営企業会計の歳入歳出決算が監査委員の審査意見とともに提出され、予算決算特別委員会の審査を経て、本会議において採決した結果、いずれの決算も認定されました。

## 平成22年度 決算の概要

### 一般会計

単位：千円

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	差引額(形式収支)	翌年度繰越財源	実質収支
一 般 会 計	31,140,708	30,445,987	694,721	39,938	654,783

### 特別会計

単位：千円

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	差引額(形式収支)	翌年度繰越財源	実質収支
国民健康保険事業勘定特別会計	8,082,011	7,771,965	310,046	0	310,046
国民健康保険医科診療施設勘定特別会計	203,880	199,179	4,701	0	4,701
国民健康保険歯科診療施設勘定特別会計	46,251	42,874	3,377	0	3,377
老人保健特別会計	3,163	3,071	92	0	92
後期高齢者医療特別会計	524,312	511,033	13,279	0	13,279
介護保険特別会計	5,649,173	5,591,314	57,859	0	57,859
市立高等看護学院特別会計	103,243	100,515	2,728	0	2,728
下水道事業特別会計	1,176,259	1,176,259	0	0	0
特定環境保全公共下水道事業特別会計	57,615	57,615	0	0	0
農業集落排水事業特別会計	94,946	94,946	0	0	0
漁業集落排水事業特別会計	35,956	35,956	0	0	0
公共用地先行取得事業特別会計	35,167	35,167	0	0	0
相内財産区特別会計	2,790	1,329	1,461	0	1,461
脇元財産区特別会計	7,950	1,874	6,076	0	6,076
十三財産区特別会計	858	216	642	0	642
嘉瀬財産区特別会計	279	179	100	0	100
神山財産区特別会計	427	164	263	0	263
松野木財産区特別会計	440	118	322	0	322
戸沢財産区特別会計	321	118	203	0	203

### 公営企業会計

単位：千円

会 計 名	総収益	総費用	純損益	資金剰余額
病院事業会計	7,372,929	7,263,851	109,078	△ 220,297
水道事業会計	1,477,977	1,227,741	250,236	1,042,063
工業用水道事業会計	104,582	64,449	40,133	97,062

### 健全化判断比率の状況

単位：千円

健全化判断比率	平成22年度	平成21年度	平成22年度早期健全化基準
① 実質赤字比率	—	—	12.61%
② 連結実質赤字比率	—	—	17.61%
③ 実質公債費比率	19.6%	21.2%	25.0%
④ 将来負担比率	156.0%	166.2%	350.0%

### 資金不足比率の状況

単位：千円

会 計 名	平成22年度	平成21年度	平成22年度終年健全化基準
① 下水道事業特別会計	—	—	20.0%
② 特定環境保全公共下水道事業特別会計	—	—	20.0%
③ 農業集落排水事業特別会計	—	—	20.0%
④ 漁業集落排水事業特別会計	—	—	20.0%
⑤ 病院事業会計	3.2%	6.8%	20.0%
⑥ 水道事業会計	—	—	20.0%
⑦ 工業用水道事業会計	—	—	20.0%

一般会計、特別会計における歳入歳出差引総額は10億9,587万円で、翌年度へ繰り越すべき財源3,993万8千円を差し引いた実質収支額は10億5,593万2千円の黒字となりました。

健全化判断比率の状況については、いずれも基準は下回っているものの、実質公債費比率が、地方債協議制度上の許可団体基準の18%を超えています。

公営企業会計では、すべての会計において黒字となりましたが、病院事業会計は2億9,076万3千円の不良債務を抱えているため、今後も経営改善に努める必要があります。

**予算案**

○平成23年度五所川原市一般会計補正予算(第3号) 主な事業の概要

・消防施設管理費

救命胴衣80着の購入、市浦地区海岸線に海拔表示を行うための経費です。

・自主防災組織育成助成事業

自主防災活動の普及を図ることを目的に、地域の防災活動に必要な資機材の整備に関する助成事業です。

・中学校武道必修化に向けた地域連携指導実践校

平成24年度から必修となる武道を円滑に実施できるよう、地域の指導者等を活用し、指導の充実を図る事業です。

**条例案**

○五所川原市税条例の一部を改正する条例の制定について

地方税法の一部改正に伴い、不申告者に対する過料を3万円から10万円に引き上げるとともに、肉用牛の売却による事業所得に係る市民税の課税特例措置の適用対象を見直したうえで、その適用期限を平成24年度から平成27年度まで3年間延長するものです。

○五所川原市集会所設置条例の一部を改正する条例の制定について

老朽化した大開集会所を廃止するとともに、高瀬集会所の建て替え及び野

里集会所の設置に伴い、集会所の位置等を改めるものです。

○五所川原市肉用牛特別導入事業基金条例を廃止する条例の制定について

五所川原市肉用牛特別導入事業に係る事務手続きが今年度で終了となったことに伴い、右記2件の条例を廃止するものです。

五所川原市肉用牛特別導入事業に係る事務手続きが今年度で終了となったことに伴い、右記2件の条例を廃止するものです。

○五所川原市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

平成24年4月から、飯詰小学校、沖飯詰小学校、一野坪小学校及び毘沙門小学校を統合し、飯詰小学校の校舎を利用して、新たにいずみ小学校を設置するとともに、金木南中学校と金木中学校を統合し、金木中学校とするため条文を改めるものです。

○五所川原市介護保険条例の一部を改正

する条例の制定について

東日本大震災で被災し、五所川原市に転入した第1号被保険者に対し、介護保険料の全額を減免するものです。

**その他**

○財産の取得について

・消防ポンプ自動車 1台  
取得価格 19,950,000円  
・除雪ドーザ 1台  
取得価格 15,697,500円

平成23年 第4回臨時会 議決結果表

議案番号	件名	委員会	本会議議決結果
第70号	専決処分の承認を求めることについて(五所川原市税条例等の一部を改正する条例の制定について)	承認	承認
第71号	専決処分の承認を求めることについて(五所川原市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について)		
第72号	専決処分の承認を求めることについて(平成23年度五所川原市一般会計補正予算(第2号))		
第73号	つがる西北五広域連合規約の変更について		
		原案可決	

平成23年 第5回定例会 議決結果表

議案番号	件名	委員会		本会議議決結果
		付託先	審査結果	
第74号	平成22年度五所川原市一般会計歳入歳出決算の認定について	予算決算特別委員会	認定	認定
第75号	平成22年度五所川原市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定について			
第76号	平成22年度五所川原市国民健康保険医科診療施設勘定特別会計歳入歳出決算の認定について			
第77号	平成22年度五所川原市国民健康保険歯科診療施設勘定特別会計歳入歳出決算の認定について			
第78号	平成22年度五所川原市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について			
第79号	平成22年度五所川原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について			
第80号	平成22年度五所川原市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について			
第81号	平成22年度五所川原市立高等看護学院特別会計歳入歳出決算の認定について			
第82号	平成22年度五所川原市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について			
第83号	平成22年度五所川原市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について			
第84号	平成22年度五所川原市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について			
第85号	平成22年度五所川原市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について			
第86号	平成22年度五所川原市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について			
第87号	平成22年度五所川原市相内財産区特別会計歳入歳出決算の認定について			
第88号	平成22年度五所川原市協元財産区特別会計歳入歳出決算の認定について			
第89号	平成22年度五所川原市十三財産区特別会計歳入歳出決算の認定について			
第90号	平成22年度五所川原市嘉瀬財産区特別会計歳入歳出決算の認定について			
第91号	平成22年度五所川原市神山財産区特別会計歳入歳出決算の認定について			
第92号	平成22年度五所川原市松野木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について			
第93号	平成22年度五所川原市戸沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について			
第94号	平成22年度五所川原市病院事業会計決算の認定について	総務常任委員会	原案可決	原案可決
第95号	平成22年度五所川原市水道事業会計決算の認定について			
第96号	平成22年度五所川原市工業用水道事業会計決算の認定について	経済文教常任委員会	原案可決	原案可決
第97号	平成23年度五所川原市一般会計補正予算(第3号)			
第98号	平成23年度五所川原市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)			
第99号	平成23年度五所川原市介護保険特別会計補正予算(第1号)			
第100号	平成23年度五所川原市病院事業会計補正予算(第1号)	民生常任委員会	原案可決	原案可決
第101号	五所川原市税条例の一部を改正する条例の制定について			
第102号	五所川原市集会所設置条例の一部を改正する条例の制定について	建設常任委員会	原案可決	原案可決
第103号	五所川原市肉用牛特別導入事業基金条例を廃止する条例の制定について			
第104号	五所川原市高齢者等に対する市有肉用雌牛の無償貸付け及び譲渡に関する条例を廃止する条例の制定について	建設常任委員会	原案可決	原案可決
第105号	五所川原市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について			
第106号	五所川原市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	建設常任委員会	原案可決	原案可決
第107号	財産の取得について(消防ポンプ自動車)			
第108号	財産の取得について(除雪ドーザ)			

# 一般質問

9月5日、6日の本会議では9名の議員が、市政に対する一般質問を行いました。ここでは、一般質問順に、主な質問と答弁の内容を要約して掲載いたします。なお、この文章は、質問議員自らが作成しています。

## ●市長の政治姿勢について ●町内会の問題点について



至誠公明会  
磯辺 勇司

**問** 市長の選挙公約の達成率をどのように自己評価しているか。また、将来のビジョンをどう考えているか。

**答** 公約に関する達成率は、市長部局に関連する26の施策を対象に調査し、今年度の事業分を加味した実施済み・一部実施が7割、検討・準備が3割と認識しており、公約の実現に向けて着実に成果を上げています。当市では、平成26年度を目標年次とした総合計画後期基本計画を作成し、6つの施策大綱に基づき、20の基本施策を体系化している。公約実現に向けた取り組みとあわせ、後期基本計画に基づく施策を推進し、市民が安心、安全に暮らせる地域社会の実現を目指していく。

**問** 町内会の持つ意義と現状をどのように

把握し、市民の町内会への加入促進についてどのような考えを持っているか。

**答** 当市では261の町内会が組織されており、地域住民の親睦や交流のほか、市の財政状況が厳しい中、ごみ集積場の維持管理等の環境美化活動、交通安全対策、市広報の配布や自主防災等、快適、安全、安心で住みよい地域づくりにご協力いただいている。

町内会は民間団体であり、加入も個人判断となるため、行政における加入への積極的な働きかけは難しいが、町内会の組織強化は重要であると考えており、今後も加入率向上につながる環境づくりの継続に努めていく。

●いずみ小学校のバス通学路コースについて  
●不動公園の不動の滝への通路について



政和会  
鳴海 初男

**問** 来年春に開校予定のいずみ小学校では、スクールバスによる送迎を予定しているとのことであるが、安全、安心な通学路の確保に向けた整備状況はどのようなになっているのか。

**答** スクールバスの運行コースや停留所等については、まだ五四中学校小学校統合協議会で協議されていないが、飯詰地区の道幅が狭いことから、経路は通行量の比較的少ない路線を想定している。

飯詰地区をはじめ、市内小中学校の通学路の整備に関しては、市道は市土木課が実施し、国道、県道については市土木課を介し、西北地域県民局地域整備部に申し強く要望している。

飯詰地区については、飯詰小学校の前を通る道路整備が計画されており、今後とも通学路の整備をお願いしていく。

**問** 不動の滝への通路が通行止めとなっているが、その原因と今後の補修計画はどのようなになっているのか。

**答** 不動の滝へ通ずる遊歩道については、平成19年春の点検時に、不動橋の老朽化による欄干の脱落や遊歩道自体の一部崩落、手すりや柵等の腐朽により、利用者の安全性が確保できないことから、通行止めとしている。

遊歩道等を整備するにあたっては、林野庁と貸借契約を締結する必要があることから、遊歩道等の使用部分について測量を実施し、借地面積を確定させたうえで、林野庁との貸借契約を締結するとともに、不動橋や遊歩道の補修を実施していく。

●市の景観について  
●大町二丁目土地区画整理事業について



政和会  
山口 孝夫

**問** 市役所廻りの樹木を伐採した理由は

何か。また、伐採後の移植、植樹をどのように考えているのか。

**答** つがる総合病院建設のため、市役所周辺の樹木を移植、伐採する必要があり、190本ある市役所周辺の樹木のうち、4本は公売により売却し、高さが5.5m以下の桜、松、サツキ、ツバキ等91本はエルクの街に隣接する市の緑地に移植した。移植が困難な高木95本はやむなく伐採した。なお、つがる総合病院完成後、敷地周辺に植樹を行う予定である。

また、市役所裏の駐車場の樹木は、樹木の背丈が伸び過ぎ、アメリカシロヒトリの害虫駆除が極めて困難になったことから、この際一緒に伐採した。

**問** 大町二丁目土地区画整理事業の対象物件81件の現在の状況及び広場公園の利用計画と管理運営はどのようにになっているのか。

**答** 仮換地81箇所のうち、建物を建築した箇所が38箇所、駐車場として利用している箇所が8箇所、利用されていない箇所が31箇所、解体等により利用できない箇所が2箇所、建物等移転補償契約が済んでいない箇所が2箇所となっている。

広場公園については、多目的利用及び防災機能を備えたものとする計画で、市民の憩いの場となるような整備をするともに、耐震性貯水槽を設置する。また、この広場公園内で朝市を開催することも可能であると考えている。

● 防災無線放送について  
● 森林鉄道の復元車両について



伊藤 永慈

政和会

**問** 以前、防災無線放送施設について修繕を行い、修繕ができなくなったら廃止するとの答弁があったが、今後どのような考えがあるのか。また、東日本大震災の時、防災無線放送がなぜ機能しなかったのか。

**答** 金木地区と市浦地区内陸部にはアナログ同報系無線、市浦地区沿岸部には津波災害の警報等が国から自動的に放送されるデジタルMCA無線を整備している。アナログ同報系無線の部品は、現在製造されていないため、当面は在庫部品で修繕するが、修繕不能の際は、新たな体制づくりも含めて今後のあり方を検討する。

東日本大震災の時は、停電時用バッテリーの不良により多くの無線が使用できない状況になったため、今後、定期点検の結果をもとにバッテリー交換等適正に対処していく。

**問** 放火に遭った森林鉄道は、日本の森林鉄道の第1号の鉄道で、斜陽館に匹敵する文化遺産であるため、今後、客車を復元する考えはあるのか。また、森林鉄道の火災保険、損害賠償保険等はどうなっていたのか。

**答** 平成9年に復元展示した森林鉄道は、平成21年の不審火により、機関車、貨車の一部と上屋及び客車の大半が消失し、修繕を行ったが、客車は安全面と景観を考慮し、台車部分を残し客室部分を撤去し再塗装を行った。木造の客車部分については、平成9年に移転復元した際の資料、図面等が現存しており、いい用材が確保できれば復元は可能であるためその復元について協議、検討していく。

また、森林鉄道は動産に分類されるが、平成9年当時から動産、工作物についての保険には加入していなかった。

● 新病院の建設費について  
● 住宅リフォーム事業について



花田 進

日本共産党

**問** 新病院の入札結果を受けた建設費はいくらになったのか。また、入札最低制限価格が高すぎたのではないか。

**答** つがる総合病院建設工事の入札は、8月10日につがる西北五広域連合で行われ、税込み全体の予定価格11億7千万円に対して、落札額は1億7千万円となり、1病床当たりでは約2,480万円となった。実施設計に当たり、民間市場価格での積算や共通仮設費や現場管理費、一般管理費も公共建築工事積算基準に準ずる経費率を採用せず、約半分

の経費率で積算したことから、91%と高い設定となり、最低制限価格を下回る業者が多かったものと考えられる。

※最低制限価格：入札時の落札の下限にあたる価格。これより低い入札額は無効となる。入札金額が不当に低価格である場合、不測の損害や工物品質の低下を被る恐れがあり、これを防ぐために設定された価格。

**問** 住宅リフォーム事業が6月定例議会です予算化され実施されたが、申込状況等はどうだったか。また、この事業を継続してはどうか。

**答** 地域経済の活性化及び市民の住環境向上対策の一環として助成事業を実施したところ、7月20日の受付初日だけで、申請件数が92件、助成対象工事費総額が約1億2千万円となった。1千万円の予算であったが530万円を専決処分により増額し、初日申請分をすべて受け付けることとした。

本事業の実施により、地域経済の活性化に寄与できたのではないかと考えており、可能な限り今後も継続する方向で検討してまいりたい。

● 東日本大震災関連について  
● PRE戦略の導入について



平山 秀直

至誠公明会

**問** 文科科学省では東日本大震災を踏まえた学校施設の整備について緊急提言を

取りまとめ公表したが、学校、体育館の整備について、今後どのように考えていくのか。

**答** 学校施設の耐震化については、既に耐震化されている金木、嘉瀬、喜良市小学校、第三中学校のほか、今年度は市浦中学校が工事を終える予定となっている。中央小学校を除く未耐震の学校施設については、平成24年度からの学校統合により解消される予定である。

中央小学校は、新校舎を建設することにより、来年度末で市内全小中学校の耐震化が図られることになる。

市民体育館については、今年度中に耐震化診断を行い、その結果を踏まえ対処していく。

**問** PRE戦略を導入する考えはないのか。

**答** 現在、市所有の土地は約670万㎡で、このうち普通財産の土地は約105万㎡である。普通財産の土地のうち、市街地等にある売却できそうな土地については、広報やホームページを活用し、公売の手続きを行っている。

売却困難な財産については、一時的な暫定活用を推進していきたい。

公共施設については、既存の建築物を

※PRE戦略：地方自治体が所有・利用する不動産「PRE(学校、公民館等)」を、公共・公益的な目的を踏まえつつ、経済の活性化及び財政健全化を念頭に、その所有、利用形態を合理化する戦略。

有効に活用し、長寿命化に努める。長寿命化が困難な施設についてはPRE戦略を組み入れ、集約等について検討していく。

### ●空き家対策について



政和会  
加藤 磐

**問** 放置された空き家や隣家屋に被害を及ぼす樹木等の対策はどのようにしているのか。

**答** 無人となっている危険家屋の保全は私有財産であることから、行政といえども簡単に処置、処分することはできないものであるが、強風等により屋根のトタンが剥離し、近隣住民の生活を脅かすような場合は、飛散防止等の応急処置を実施している。今年度より市民から相談があった場合には、職員が現場を確認後、所有者等の調査を行い、対処を依頼しているほか、老朽危険家屋台帳の整備も進めており、今後、町内会等に対し協力をお願いしながら、空き家対策に取り組んでいく。

### ●香典返しの地産地消について ●選挙の投票時間短縮について



民社協会  
阿部 春市

**問** 市の特産品や地元食材を利用した香典返しの地産地消を進め、市の活性化を図るべきではないか。

**答** 当市の特産品は観光客向けとされてきた商品が多いが、香典返しなど葬祭分野に拡大すれば地域経済への波及効果が大きい。香典返しの対象となる地域特産品について調べたところ、レトルトシジミや赤くいりんご商品、うどん、そばの乾麺、野菜かりんとうなどがある。

今後、地域特産品をサンプリングし、その利活用を広報紙やホームページで情報提供するとともに、葬儀会社、葬祭施設等に提案し、香典返しの地産地消を積極的に推進していく。議員自らが足を運んでのご提言に感謝申し上げます。

**問** 冬場は日が短い、そして飛び地という土地柄を考慮して、投票時間を午後8時から6時に繰り上げすることを検討すべきと思うがどうか。

**答** 投票時間の繰り上げについては、公職選挙法の改正があった平成12年より、県選管の承認から届出制に変わったことから、夜間の投票者が少なく、立会人の拘束時間が長くなる、または開票所への投票箱の運搬にかかる等の理由により、終了時間を早める自治体が徐々に多くなっている。

公職選挙法の本来の趣旨に立ち返れば、有権者にできるだけ投票の機会を与えることが大前提であるため、県内各選管の

統一した見解のもとに、ばらつきのないように県選管に要請しながら判断したい。

### ●農林水産業の振興について ●経済対策について



至誠公明会  
松野 武司

**問** 6次産業化に取り組んできた事業の実績や今後取り組むべき農林水産事業はどうなっているのか。

**答** 当市における事例として、農業では地元の農産物を利用し、各加工組織がリングジュースや豆腐などの大豆製品の生産、加工、販売を行っており、林業では間伐材等の木質バイオマスを活用した暖房用のペレットの製造販売、漁業ではシジミ貝の様々な加工、販売のほか、海面漁業についても今年五所川原市十三地区産地協議会が設立され、来年度完成を目指している十三湊漁港荷さばき施設内の蓄養機能を活用した付加価値を高めた水産物流通等を計画している。

**問** 地域経済活性化、地場産業の創出を図るために、基金を活用した取り組みを行っているが、その成果はどうなっているのか。

**答** 平成21年度から新たに合併特例債を活用して地域振興基金の積み立てを開始している。本基金については運用益金を

活用し、昨年度は市民提案型事業を、今年度は職員提案制度により提案があった住宅用太陽光発電システム及びペレットストーブ導入への補助事業を実施している。いずれも事業効果はもろろんのこと、地域経済の活性化にも大きく貢献していると認識している。

基金の活用については、地域経済への還元効果が高い活用方策について引き続き活用していく。

### 予算決算特別委員会

9月8日、9日に予算決算特別委員会が開かれ、歳入歳出決算23件、補正予算案4件について審査が行われました。委員会でも寄せられた主な質問を掲載いたします。

平成22年度五所川原市一般会計歳入歳出決算  
(歳入)

- ・ 市税の収入未済額の収納対策
- ・ 国保の収納率が高く市税の滞納が多い要因
- ・ 滞納者の傾向
- ・ 徴収対策として分納の実施状況
- ・ 市税の徴収体制
- ・ 市税の差し押さえ件数と金額
- ・ 固定資産税の不納欠損額が多い理由
- ・ 市浦地区風力発電施設設置に伴う固定資産税額

## 討 論

第5回定例会の最終日には、予算決算特別委員長の報告に対して、反対の立場から討論がありましたので、その内容を掲載します。

平成22年度五所川原市一般会計歳入歳出決算の認定について

反対 日本共産党

花田 進

市の財政が連続して黒字決算となったことを否定するものではないが、中核病院の建設とともに地方債が増加していく中で、不必要な借金はすべきではないという視点から、地域振興基金への積み立ては不要であること、また、福島第一原子力発電所の事故を教訓に、関係団体からの助成金は受け取るべきではないと考えることから反対します。

平成22年度五所川原市水道事業会計決算の認定について

反対 日本共産党

花田 進

平成22年度においても約2億5千万円の黒字が生じ、積立金は10億円を超えている。黒字経営については事業所職員に敬意を表するものであるが、市民に値下げという形で還元するのが当然であり、また、積立金の運用が十分に行われていないことから反対します。

・卒業後の就職状況

平成22年度五所川原市脇元財産区特別会計歳入歳出決算

(歳入)

・予算執行率350%に対する評価

平成22年度五所川原市病院事業会計決算

(予算全般)

・特別損失の内訳

平成22年度五所川原市水道事業会計決算

(予算全般)

・減債積立金及び建設改良積立金の内訳

平成23年度五所川原市一般会計補正予算

(第3号)

・高卒未内定者等就業機会提供事業(人材育成)

・産地水産業強化支援事業の内容

平成23年度五所川原市病院事業会計補正予算(第1号)

(予算全般)

・歳入医業外収益に予算計上し歳出に予算計上しない理由

・要保護及び準要保護児童援助費

・給食賄材料費に占める地場産品の割合及び来年度の目標

・市の文化財立佞武多の国、県指定への準備体制

平成22年度五所川原市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算

(歳入)

・黒字となった要因

・不納欠損額の所得階層別の割合

・県財政調整交付金特別分が平成21年度より増額となった理由

・収納率と財政調整交付金の内訳

平成22年度五所川原市国民健康保険医科診療施設勘定特別会計歳入歳出決算

(予算全般)

・黒字となった要因

平成22年度五所川原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

(歳入)

・一人当たりの平均保険料

平成22年度五所川原市立高等看護学院特別会計歳入歳出決算

(歳入)

・国家試験不合格者に対するフォロー

・保育料及び小、中学校給食費収入未済額の対策

・廃校跡地の利用

・生活保護法第63条による返還金の内容

・原子燃料サイクル事業推進特別対策事業助成金の使途

平成21年度及び平成22年度の納税貯蓄組合数と納付率

・市浦中学校耐震化事業の内容

(歳出)

・地域振興基金積立金内容及び運用益

・生活保護費の動向

・介護人材育成事業の成果及び今後の事業予定

・医師確保対策特別事業負担金の内容

・病院群輪番制病院等運営事業費補助金の内容

・新型インフルエンザ予防接種事業費補助金の内容

・五所川原市斎場の修繕料

・不法投棄ごみ等監視委託料の委託先及び内容

・し尿処理場の工事進捗状況

・ふるさと雇用再生特別事業の内容及び今後の見通し

・農地、水、農村環境保全向上活動支援事業の負担割合及び今後の事業の見通し

・あわび放流事業の今後の計画

・津軽フリーパス運営協議会負担金

・街灯新設の基数及びLED電球の設置状況

・青森県民駅伝競技大会補助金

## 議会インターネット中継のお知らせ

五所川原市議会では、住民に開かれた議会を目指し、議会での議論の状況をより多くの方々に知っていただくために、本会議の中継を9月定例会より実施しています。ぜひご覧ください。

[http://www.city.goshogawara.lg.jp/27\\_gikai/](http://www.city.goshogawara.lg.jp/27_gikai/)



議  
会  
を  
傍  
聴  
し  
ま  
せ  
ん  
か

次  
回  
定  
例  
会  
の  
予  
定

12月8日(木)	本会議(開会)
12月12日(月)~13日(火)	本会議(一般質問)
12月14日(水)	本会議(総括質疑、予算特別委員会設置、議案付託) 予算特別委員会(組織会) 常任委員会(議案審査)
12月15日(木)~16日(金)	予算特別委員会(平成23年度補正予算審査)
12月20日(火)	本会議(閉会)

※日程が変更になる場合があります。

平成23年第6回定例会日程が正式に決定されるのは11月下旬となりますので、市のホームページ等でご確認ください。

●お問い合わせ先…議会事務局

行  
政  
視  
察  
来  
庁

平成23年8月23日に群馬県渋川市議会会派5名が行政視察に来庁されました。

青森DC(デスティネーションキャンペーン)の取り組みと成果について及び祭を中心とする観光政策について、当市の現状と課題を説明したのち、意見交換を行いました。

このほか、左記の市議会の皆様が行政視察に来庁されました。

10月11日	広島県府中市	9名
10月13日	埼玉県蓮田市	8名
11月1日	宮崎県日南市	3名



群馬県渋川市議会

編  
集  
後  
記

議会だより第3号をお届けします。9月定例会から、議会インターネット中継が始まり、議会での議論の状況をより多くの方々に身近にお知らせすることができました。

10月4日の議員研修会において講師の三反園訓氏は、「しっかりとしたビジョンを持って行動し、ビジョンを市民と共有することが大事である。」という話をしていました。

研修会を通じ、我々がこれまで以上に市の現状、ビジョン等を市民に説明していかねければと感じました。紙面の都合もあり、満足のいく議会だよりには、まだまだ近づいてはおりませんが、議会だより編集特別委員会では、市民が求めるものを分かりやすくお知らせできるよう取り組んでいきます。

議会だより編集特別委員会

委員長	山口 孝夫
副委員長	山田 和宗
委員	木村 清一
委員	平山 秀直
委員	伊藤 永慈
委員	花田 進
委員	吉岡 良浩
委員	木村 慶憲

■発行 / 五所川原市議会

■編集 / 市議会だより編集特別委員会

〒037-8686 五所川原市字岩木町12番地 TEL 0173-35-2114 FAX 0173-35-2113

ホームページ [http://www.city.goshogawara.lg.jp/27\\_gikai/](http://www.city.goshogawara.lg.jp/27_gikai/) メールアドレス [gikai@city.goshogawara.lg.jp](mailto:gikai@city.goshogawara.lg.jp)

※ご意見・ご要望をお聞かせください。いただいたご意見は議会だよりに役立たせていただきます。